

# 安全データシート

作成:2014年10月29日

改訂:2022年 8月10日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH129-07  
製品名 : クミスターLジャンボ  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3823-6830  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

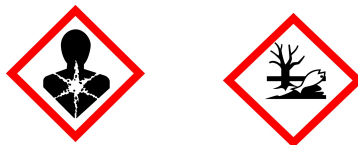
GHS分類

物理化学性危険性	自然発火性固体	: 区分に該当しない
	可燃性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	急性毒性(吸入・粉塵)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
	皮膚感作性	: 区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
	発がん性	: 区分1A
	生殖毒性	: 区分に該当しない
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2(神経系、腎臓)
	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
- ・発がんのおそれ
- ・長期または反復ばく露による臓器(神経系、腎臓)の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：3-[(2,5-ジクロロ-4-エトキシベンジル)スルホニル]-4,5-ジヒドロ-5,5-ジメチル-1,2-オキサゾール / 一般名：フェノキサスルホン

(RS)-2-ブromo-N-( $\alpha$ ,  $\alpha$ -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド / 一般名：ブromoブチド  
 メチル =  $\alpha$ -(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート / 一般名：ベンスルフロメチル

成分及び含有量：	フェノキサスルホン	8.0%
	ブromoブチド	36.0%
	ベンスルフロメチル	2.0%
<その他>	結晶質シリカ(石英)	0.6%
	アルファ-メチルスチレン	0.1%
	鉱物質微粉 等	53.4%

化学式：  
 $C_{14}H_{17}Cl_2NO_4S$  / フェノキサスルホン  
 $C_{15}H_{22}BrNO$  / ブromoブチド  
 $C_{16}H_{18}N_4O_7S$  / ベンスルフロメチル

官報公示整理番号：化審法	(1)-548	結晶質シリカ(石英)
	(3)-5	アルファ-メチルスチレン
安衛法	8-(7)-1525	フェノキサスルホン
	4-(7)-1142	ブromoブチド
	8-(2)-1338	ベンスルフロメチル

CAS No.:	639826-16-7	/ フェノキサスルホン
	74712-19-9	/ ブromoブチド
	83055-99-6	/ ベンスルフロメチル
	14808-60-7	/ 結晶質シリカ(石英)
	98-83-9	/ アルファ-メチルスチレン

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはめぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂

使ってはならない消火剤：特になし

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消化のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

## 6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の作業の際は十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. ばく露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川に影響を及ぼさないよう注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取る等粉塵が飛散しない方法で取り除く。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

## 8. ばく露防止措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：取り扱いについては、密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：保護手袋(ゴム手袋)

保護眼鏡：保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

保護衣：作業着、帽子、保護服

## 9. 物理・化学的性質

外観等	：	類白色粒状	水溶性パック入り
臭い	：	データなし	
pH	(5倍希釈液)	：	9.4
融点・凝固点	：	データなし	
沸点・初留点及び沸騰範囲	：	データなし	
引火点	：	データなし	
自然発火点	：	データなし	
燃焼性	：	データなし	
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	：	データなし	
相対ガス密度	：	データなし	
蒸気圧	：	データなし	
密度及び／又は相対密度	：	0.45	
溶解度	：	データなし	
n-オクタノール／水分配係数(log値)	：	データなし	

分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径5.0mm

#### 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない	LD50 : >2000 mg/kg(ラット)
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない	LD50 : >2000 mg/kg(ラット)
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:粉じん)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない	刺激性なし(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない	中等度の刺激性があるがGHS分類では区分に該当しない(ウサギ)
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: 区分に該当しない	陰性(モルモット)
生殖細胞変異原性	: 結晶質シリカが分類できないため分類できないとした。	
発がん性	: 結晶質シリカが区分1Aに分類されることから区分1Aとした。	
生殖毒性	: 結晶質シリカが分類できないため分類できないとした。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 結晶質シリカが分類できないため分類できないとした。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: フェノキサスルホンとして区分2(神経系、腎臓)	
誤えん有害性	: データなし	

#### 12. 環境影響情報

混合物として水生環境有害性(急性、慢性)は区分1とした。

生態毒性 魚 コイ	: 96時間LC50	>1000 mg/l	区分に該当しない
甲殻類 オオミジンコ	: 48時間EC50	>1000 mg/l	区分に該当しない
藻類 緑藻類	: 72時間ErC50	0.032 mg/l	区分1
残留性/分解性	: データなし		
生体蓄積性	: データなし		
土壤中の移動性	: データなし		
オゾン層への有害性	: データなし		
その他	: 除草剤であり、植物に影響がある。 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してしようする。		

#### 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 14. 輸送上の注意

移送前に、容器の破損、腐食、漏れが無いことを確認する。移送取り扱いは丁寧に行う。

国連分類	: クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ
国連番号	: 3077(環境有害物質、固体)

## 国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法の規定に従う。

## 15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第 23542 号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第18条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(石英)(政令番号165-2) 第18条の2(通知対象物質):アルファーマチルステン(政令番号36)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: (2023年4月1日以降) 第一種指定化学物質 662号 ベンスルフロメチル
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当

## 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。上記注意事項については通常想定される取扱いを対象としたものであり、特別な扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

- 引用文献:
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
  - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
  - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
  - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。